

# くらし・まちづくり

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## レンタルでオモイを叶える



|       |  |      |          |
|-------|--|------|----------|
| 企業名   | コーユーレンティア株式会社  |      |          |
| 所在地   | 東京都港区  | 資本金  | 8億7896万円 |
| 設立    | 1970年10月   | 従業員数 | 373名     |
| 企業URL | <a href="https://www.koyou.co.jp/">https://www.koyou.co.jp/</a>  |      |          |
| 事業内容  | F F & E レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けに* F F & E をレンタル。<br>*furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品) |      |          |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1960年代後半、建設工事現場の事務所内で利用する机・椅子などを貸し出すことで、現場事務所の職場環境を担保するサービスを発見し、レンタルビジネスをスタート。現在は、イベント会場、住宅販売センター、各プロジェクト室、業種・地域に限定せず、納入先を増やしている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 利用したい期間だけ、オフィス家具・家電・PC・タブレットなどを貸出（レンタル）し、貴社の業務活動の運営を物品企画・提供でサポートします。
- レンタル資産は北海道から沖縄までの11の物流センターで整備・補完し、利用される場所まで配送・設置をします。
- 建設現場では50年以上、イベント会場では20年以上の実績があり、案件及び会場の企画提案も可能です。
- 近年の保有商品数は100万点超え、在庫が不足した場合は同業企業との協力での対応をしています。購入一択の業界（教育）を中心にレンタルの選択を提供することで、限りある資源を有効活用、経済的視点でも成長性が期待できます。

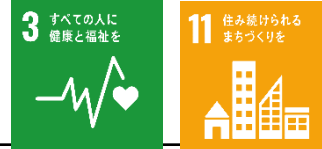
## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

顧客が事業を運営するにあたって、必要な備品をシェア（レンタル）することで、資源の有効活用につながり、環境負荷を低減できる。シェアすることで、廃棄物の発生を抑制でき、低炭素社会へ繋げることが可能。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

ゴール8 VUCA時代に合わせたオフィス空間をレンタルサービスで、働きやすい職場環境をつくります。  
 ゴール11 日本中の建築工事現場をレンタルサービスでサポートし、まちづくりのお手伝いをします。  
 ゴール12 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進化させ、ゼロエミッション。つかう責任を全うします。  
 ゴール17 レンタルサービスは、1社では成り立ちません。仕入・搬入・搬出・整備・管理・メンテナンスといった協業の幅を増やして、サービス利用層を拡大します。

## まちなかの人々の興味関心をバーチャルとリアルでつなげることで楽しい街を醸成。引越し前に仲間と居場所が見つかる「コリビング移住」サービス



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | クラブルーム   |      |       |
| 所在地   | 兵庫県西宮市   | 資本金  | 0（個人） |
| 設立    | 2021/07/01   | 従業員数 | 1     |
| 企業URL | <a href="https://clubroom.jp">https://clubroom.jp</a>              |      |       |
| 事業内容  | 部屋とラウンジとコミュニティというシェアハウスの機能を徒歩圏とネットに分散させることで、街全体をコミュニティ化する、移住促進サービス |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

不動産業界に身を置き、就職や転勤などで地元を離れ見知らぬ街に引越しをするとき、人間関係がリセットされる状態をなんとかしたいと考えており、同時にネット上には友達のそばで暮らしたいという声があふれていることに気づき、ビジネスを着想しました。コミュニティ型のシェアハウスは増えつつありますが、供給数が足りておらず利用する人たちも限られています。コミュニティの機能を居住する部屋と切り離すことで、物件の部屋数という制限を取り払い、同じ街の中にひとつのテーマでつながる数百人の友人関係をつくることできれば、これが街の特色となって、様々な付加価値を生むことにつながります。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

街に興味関心テーマを与え、引越し希望者を誘致。引越し前から地域住人と交流することで、街のことを知り仲間との関係を構築した上で、移住できる。

#### ■提供サービス

- ・興味別スマホアプリ（SNS）で仲間とつながり
- ・提携物件に入居することで、仲間のそばにくらし
- ・部室（コミュニティスペース）を利用して仲間と交流を行う

例：東大阪市 × ものづくり  
※アマチュア手芸・工芸作家、技術者が集う街をつくる

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

2040年には国民の5人に2人が単身者となり、なおかつ社会的な孤立は死亡率を30%も引き上げるといふ命に関わるリスクです。孤独・孤立をなくすことで、日常を豊かにすることに貢献します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

街の住人とその街に勤める人たちが新たに興味関心テーマを通じて出会い、定期的に食事の時間を共に楽しむことのできる「食堂」サービスを地域飲食店と連携して実施予定です。若者からお年寄りまで、孤食・孤独・孤立に悩まれている方はたくさんおられます。地域を支援されている企業で、自社従業員への福利厚生をお考えの企業、または地域コミュニティに対して提供できるサービスをお持ちの企業様はぜひお声がけください。

# “多目的電動アシスト3輪自転車”で、みんなが明るく生きられる社会を



|              |  |             |              |
|--------------|--|-------------|--------------|
| <b>企業名</b>   | ケイズ技研株式会社  |             |              |
| <b>所在地</b>   | 大阪市北区  | <b>資本金</b>  | 500万円        |
| <b>設立</b>    | 2015年5月1日  | <b>従業員数</b> | 0（社外協力技術者3名） |
| <b>企業URL</b> | <a href="http://www.kslabo.jp">www.kslabo.jp</a> |             |              |
| <b>事業内容</b>  | 各種乗物・移動装置の企画、開発、設計、製造、販売                         |             |              |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

特に後期高齢者や移動制約者向けの「転倒しにくい電動アシスト自転車」の事業を進める過程で、コロナ禍の今日、多くの人が生活（働く）手段に困窮されていることが分かった。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

下記のような用途に活用できる**“多目的電動アシスト3輪自転車”**を、**一般には通常リース**。求職者には適した職業の紹介も併せてリース。誰もが安心して暮らせて、誰でも移動できる共生社会の実現に貢献する。

- ・乗客2名のタクシー、特に要介護者送迎用。（許認可不要。但し、所轄警察に事前届け出がベター）
- ・様々なイベント、観光地、遊園地、テーマパーク、大規模施設などの移動、周遊、物品運搬用、等々。
- ・荷物の運搬／配送／宅配。（顧客から直接料金を受領する場合、税務署へ個人事業届が必要）
- ・移動キッチン／弁当販売。（食品衛生責任者講習の1日受講／営業地保健所への届出等が必要）
- ・各種商品／サービスの移動販売。（行商扱いのため許認可等不要）

・・・etc.



試作車（タクシー仕様）



試作車（カーゴ仕様）

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・レッサー（提携リース企業等）／レッシー（リース利用者）共に、SDGsビジネスを具体的に体現しながら、収入が得られる。
- ・特にレッシーに、対面する顧客の笑顔と、自主自立で働いて生きる喜びを感じてもらう。
- ・社会的には、失業者とCO2の減少に貢献できる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ・OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果：  
現在JETRO様に、弊社が基本技術特許を保有している国々の内、特に欧米地域から、ビジネスを具体的に展開していく方策を相談中。（現地企業とのコラボも検討）
- ・今後の方向性：  
コラボを含めた製造／販売を、希望される企業様と、国内外同時進行で進める。

## 建築業界の人手不足解消とSDGsを実現する 『端材利用外壁コーナー』の製造



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 大日運輸株式会社  |      |         |
| 所在地   | 大阪府門真市  | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 1971年   | 従業員数 | 50人     |
| 企業URL | <a href="http://www.dun.co.jp/">http://www.dun.co.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 物流商社：配送サービス、倉庫サービス、建材加工サービス、建材販売サービス等                     |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

建築資材の配送・保管ならびに外壁材のコーナー材の製造加工を行っています。 外壁材を現場に配送する際に今回のビジネスを思いつきました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

住宅の外壁を施工する際、外壁材を現場のサイズに合わせて切断し、壁面に留めつけます。その際に発生した端材を回収し、コーナー部材として再生利用します。 ※端材は産業廃棄物となる場合が多いです。



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

・外壁施工の人手不足解消と建築廃材の削減

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ①『端材利用外壁コーナー』の製造事業の更なる拡大を進めていきます。
- ②その他のあらゆる建築資材〔屋根材、壁材、内装材、断熱材、木材等々〕の端材を有効利用できるSDGsビジネスモデルを横展開していきたいです。心当たりがある方は是非ともお声掛け願います。

## “ヴィーガンレザー” ～植物性皮革という選択肢～



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | PEEL Lab (ピールラボ)  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 200万円 |
| 設立    | 2021年8月   | 従業員数 | 5     |
| 企業URL | <a href="https://www.peel-lab.com">https://www.peel-lab.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止に関する事業                           |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

私たちは、ファッション業界と環境をテーマに、主に動物・合成皮革が環境に与える影響に着目しました。既存のレザーの製造過程で排出される温室効果ガスは、なんと毎年全体の10%をも占めています。それに加え、約5,000万頭以上もの動物が犠牲になり、830億ガロンにも及ぶ量の水が無駄になっているのが現状です。これらの問題の解決するため、消費者に植物由来性のヴィーガンレザーという選択肢を与える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- サステナブル（持続可能性）・エシカル（論理的なアプローチ）・デザイン・トランスペアレンシー（生産過程における透明性）という4つのバリューを念頭に、様々なブランドとのコラボレーションを通じて環境保護を目標に日々活動。
- 植物（主に廃棄ロスのパイナップル、りんご、竹など）を原料にしたヴィーガンレザーを用いた製品の開発・販売（B2B）。  
販売事例：ハンドバッグ、ペット用首輪、コースター、ヨガマットなど

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

現在、レザー製品には主に動物・合成皮革が使われています。どちらも環境と動物愛護観点において非常に有害であり、早急な解決策が必要と考えています。そのため、植物性レザーを普及させることで、消費者への「第3の選択肢」の提供を実現します。これにより、ヴィーガンレザー商品の開発、制作はもちろん、既存のファッション製品製造がもたらす環境問題やエシカル消費の重要性などの社会的認識を高めることも期待できます。そして、2030年までに動物性・合成皮革製品市場の約5%を植物由来のレザーに置き換えることを目標としています。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

東京・大阪に拠点を置くPEEL Lab (ピールラボ) 株式会社は、植物由来レザーを筆頭に、廃棄ロスの植物や果物をアップサイクルした素材の活用を推進するビジネスプラットフォームであり、バイオテックベンチャーです。地球環境への配慮を大切にし、日本でのビジネス展開だけでなく東南アジアでの農業廃棄物の課題や、廃棄ココナッツを活用して新しい素材の研究開発にも取り組んでいます。URL: [www.peel-lab.com](http://www.peel-lab.com)  
PEEL Lab (ピールラボ) は大きな3つのテーマ 1) 地球温暖化の抑止、2) 食品廃棄ロスの抑制、3) 動物への虐待回避を目的として活動を行い、持続可能で革新的な素材でプロダクトを生み出していくという戦略的な考えを持っています。動物愛護の精神から生み出された植物由来レザーはPeTA（全米最大の動物愛護団体）によって公式認定されており、その素材は従来のいわゆるレザーの感触や質感によく似ています。私たちは植物由来レザー＝ネクストレザーと位置付け、ますます拡大する代替素材への需要に対応してまいります。またPEEL Lab：NEXT FOODS（ネクストフード）のプロジェクトを開始しました。スーパーフードとして、昨今注目を浴びるスピルリナを主原料としたパスタを2022年4月下旬を目処に販売を開始いたします。同時に、スピルリナパウダーも販売を予定しております。